
有床診療所・相談事例集

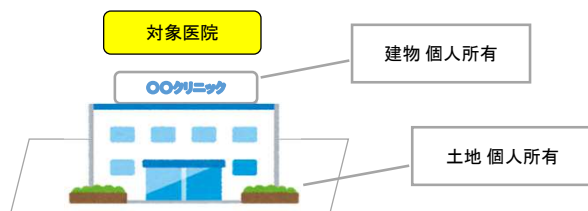
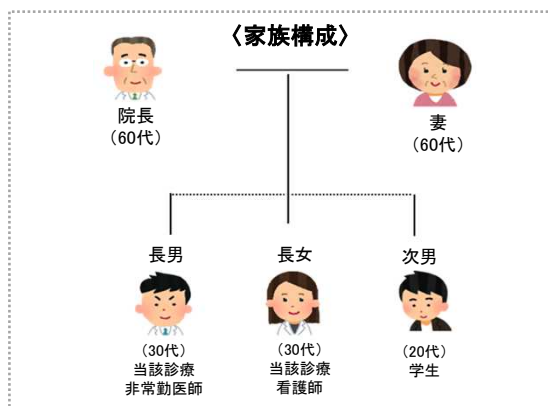
※地域・診療科目・財務資料・家族構成等は非開示又は変更しています

相談事例①

対象医院の概要

〈単位:千円〉

有床・無床	有床診療所
法人・個人	法人
病床	16床
医業収入	64,000
経常利益	▲15,000



問題点と解決策

現状と問題点

- 院長は健康面、体力面において診療を続けることは難しくなってきた。
- 経営は赤字続き。
- 後継者不在。息子は当該診療所の非常勤医師として週に数回手伝いに来ているが、あと最低2年は外で経験を積みたいと考えている。
- 院長は息子に診療所を継いでほしいとは思っていない。(経営者として同じ苦勞をさせたくない)
- 病床は稼働していない。
- 病床の売買はできない。

解決策

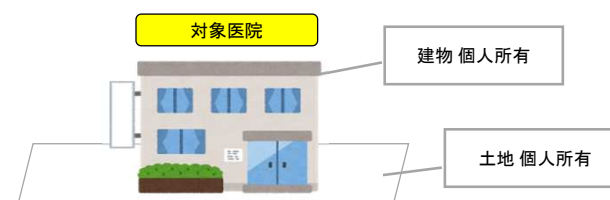
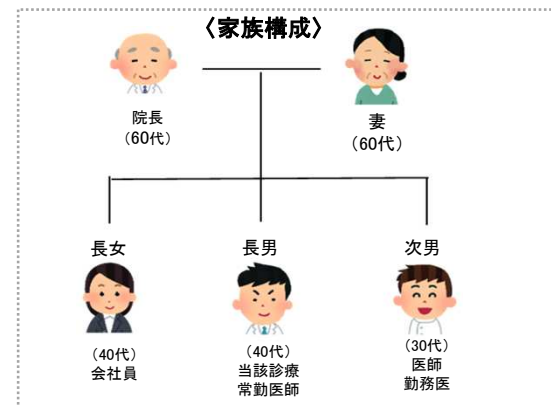
- 有床医療法人の出資持分譲渡
- 同一 二次医療圏の病医院との統合

相談事例②

対象医院の概要

〈単位:千円〉

有床・無床	有床診療所
法人・個人	法人
病床	19床
医業収入	60,000
経常利益	▲4,500



問題点と解決策

現状と問題点

- 院長は高齢であり後継者不在。
- 経営は赤字続き。
- 病床は稼働していない。
- 建物は老朽化している。
- 患者をはじめ取引関係に閉院すること既に案内している。

解決策

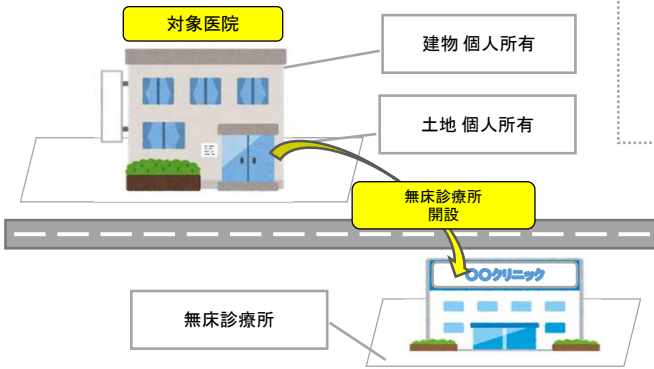
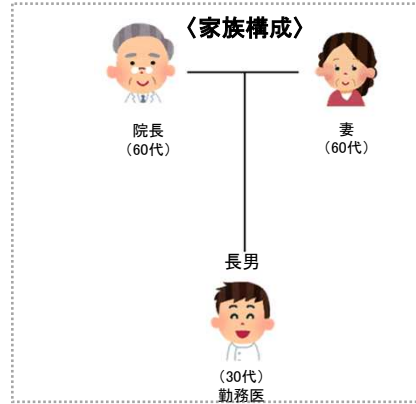
- 有床診療所の出資持分譲渡
- 同一 二次医療圏の病院との統合

相談事例③

対象医院の概要

〈単位:千円〉

有床・無床	有床診療所
法人・個人	個人
病床	15床



問題点と解決策

現状と問題点

- 院長は高齢であり息子に引き継ぐ予定。(親子承継)
- 息子は診療所を引き継ぐ予定であるが、病床は使用しない。
- 建物の老朽化が進んでおり、近隣に無床診療所を建設中。
- **現在の病床は、今後使用しないためどうすれば良いか。**

解決策

- 個人診療所のため、「事業譲渡」の手続き
- 個人診療所で親子承継の場合は、「開業」と「廃業」の手続き

相談事例④

対象医院の概要

〈単位:千円〉

有床・無床	有床診療所
法人・個人	法人
病床	19床
医業収入	110,000
経常利益	▲1,000

〈家族構成〉



問題点と解決策

現状と問題点

- 子供がおらず、弟の子供(甥)が医学部に進学しているので、将来は継がせたい。
- 建物は老朽化しており、病床は稼働していない。
- 閉院後、一年間は分院長として引き継がなければならない点が悩ましい。

解決策

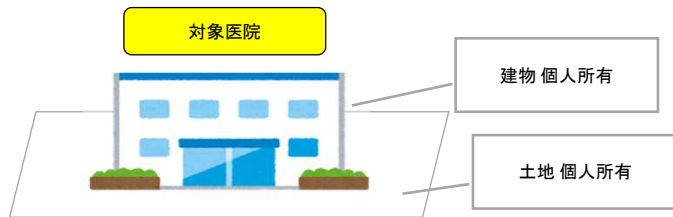
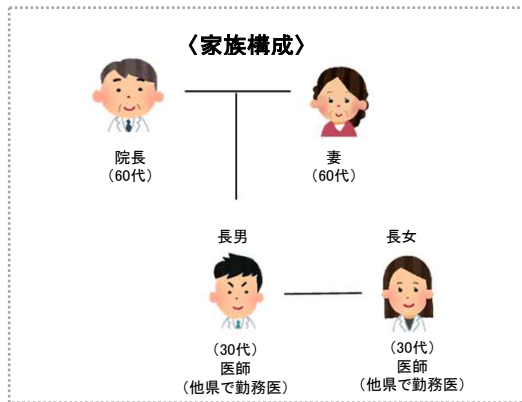
- 病床付き出資持分譲渡
- 同一 二次医療圏の病院との統合

相談事例⑤

対象医院の概要

〈単位:千円〉

有床・無床	有床診療所
法人・個人	個人
病床	19床
医業収入	25,000
経常利益	▲6,000



問題点と解決策

現状と問題点

- ・ 院長は高齢であり息子は県外で勤務医をしており、将来的には帰ってきて診療所を継ぐ予定。(親子承継)
- ・ 息子の妻も医師であり、引き継ぐ場合は2人で無床診療所をやっていきたい。
- ・ **現在の病床は、どのようにすればよいか。**

解決策

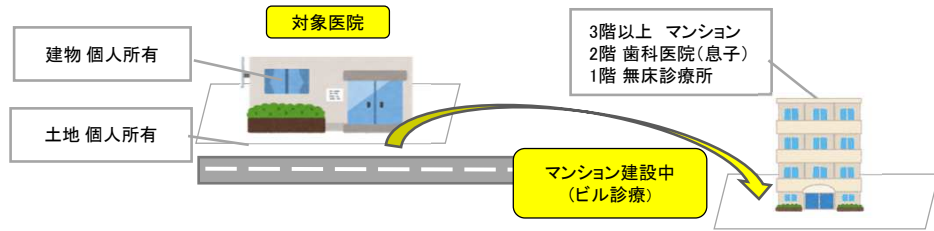
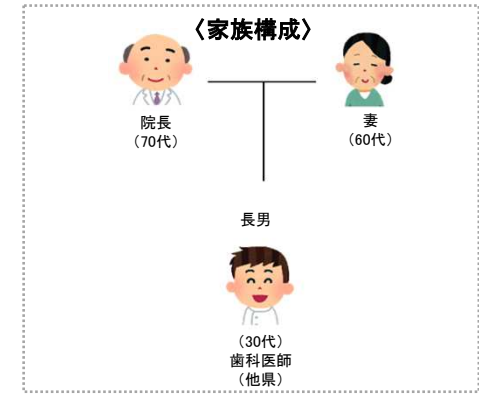
- ・ 個人診療所のため、「事業譲渡」の手続き
- ・ 個人診療所で親子承継の場合は、「開業」と「廃業」の手続き

相談事例⑥

対象医院の概要

〈単位:千円〉

有床・無床	有床診療所
法人・個人	法人
病床	19床
医業収入	155,000
経常利益	▲10,000



問題点と解決策

現状と問題点

- ・ 院長は高齢であり後継者不在。
- ・ 息子は歯科医師であり地元で歯科医院を開業予定。
- ・ 現診療所は区画整理対象エリアであったため、近隣にマンションを建設中。マンションの1階は無床診療所、2階は歯科医院(息子が開業)、3階以上は賃貸マンションの予定である。
- ・ 院長は高齢のため健康面で不安があり診療を継続することが難しくなってきた。
- ・ **地域医療継続のため、1階で診療をしてくれる医師を探している。**

解決策

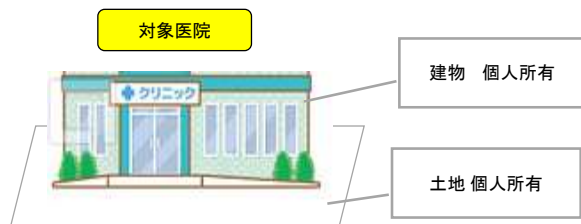
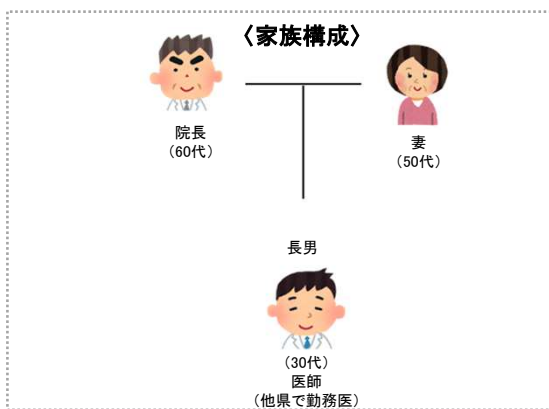
- ・ 個人診療所のため「事業譲渡」の手続き
- ・ 開業候補医の発掘

相談事例⑦

対象医院の概要

〈単位：千円〉

有床・無床	有床診療所
法人・個人	法人
病床	19床
医業収入	220,000
経常利益	18,000



問題点と解決策

現状と問題点

- 病床を売却したい。(法人格ごと)
- 法人格の売却後、新たに医療法人を設立し、無床診療所を開業したい。

解決策

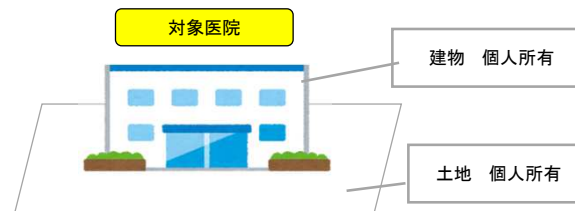
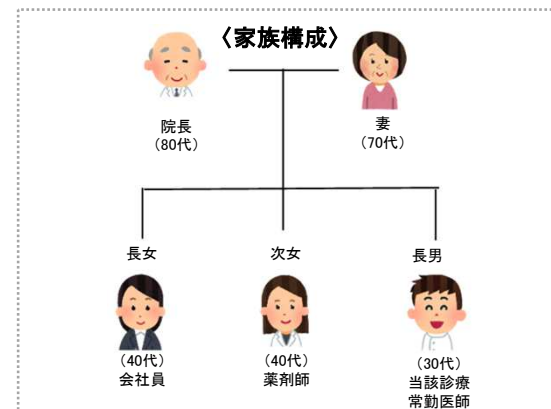
- 病床付き出資持分譲渡
- 同一 二次医療圏の病医院との統合

相談事例⑧

対象医院の概要

〈単位：千円〉

有床・無床	有床診療所
法人・個人	個人
病床	19床
医業収入	-
経常利益	-



問題点と解決策

現状と問題点

- 長男が継ぐこととなったが、事業用資産(父の土地)の評価が高く、相続対策も必要になっている。
 - ①有床診療所として継続する → 診療所の建て替えが必要
 - ②更地にして無床クリニック(1F) + 賃貸マンション(2~4F)
 - ③更地にして売却
- ……いろいろな選択肢があり、最適解が見いだしにくい。

解決策

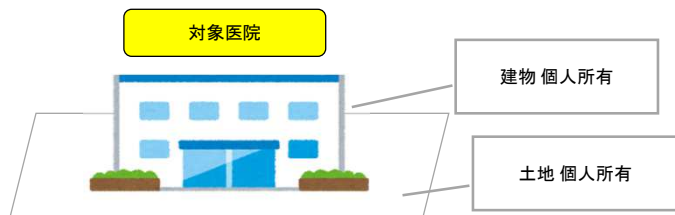
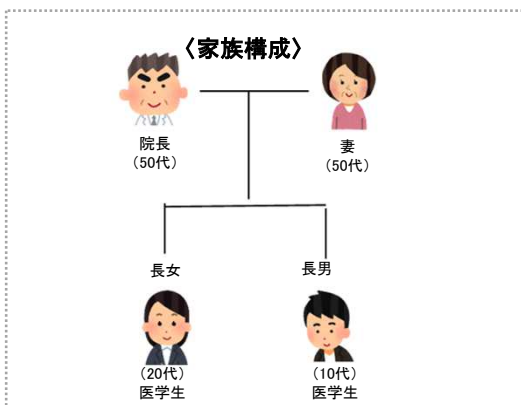
- 意思決定できず問題先送り状態 → 解決手だてなし
- 無床診療所に踏み切る
- 更地にして売却する

相談事例⑨

対象医院の概要

〈単位:千円〉

有床・無床	有床診療所
法人・個人	個人
病床	19床
医業収入	86,000
経常利益	▲5,000



問題点と解決策

現状と問題点

- 診療所と自宅が同一敷地内に建築。
- 土地は数百坪と広く、坪単価も高い。
- 業績不振により不動産を全て手放す必要があるが、自宅の売却までは避けたい。

解決策

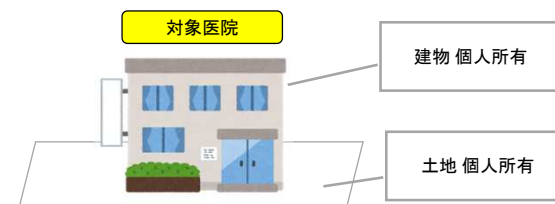
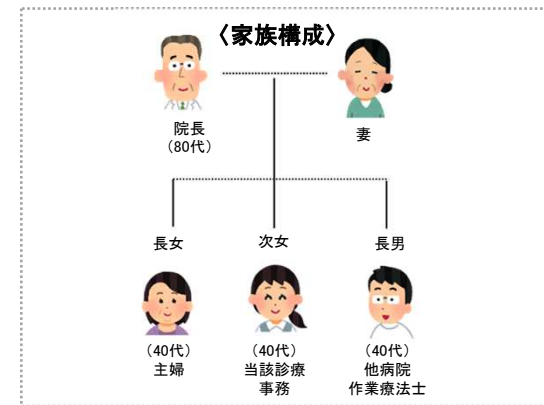
- 個人診療所のため、「事業譲渡」の手続き
- 個人診療所で親子承継の場合は、「開業」と「廃業」の手続き
- 分院先として医療法人の傘下に入る

相談事例⑩

対象医院の概要

〈単位:千円〉

有床・無床	有床診療所
法人・個人	法人
病床	18床
医業収入	67,000
経常利益	▲11,000



問題点と解決策

現状と問題点

- 閉院直前(6ヶ月前)の相談であった。
- 最終的には不動産売買となる旨の承諾を得て業務受託。
- 建物は老朽化しており、承継者は建替えが必要。

解決策

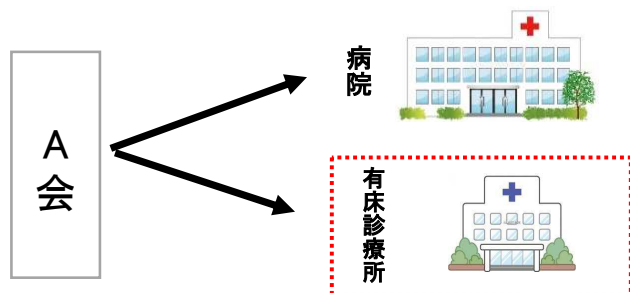
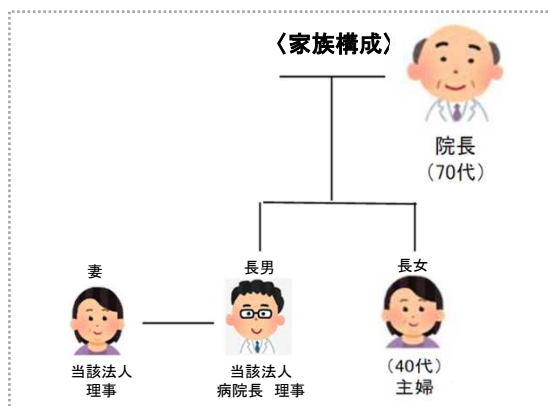
- 病床付き出資持分譲渡
- 同一 二次医療圏の病院との統合
- 介護系事業者への二次利用の打診
- 開業候補医への打診

相談事例⑪

対象医院の概要

〈単位:千円〉

有床・無床	有床診療所
法人・個人	法人
病床	19床
医業収入	118,000
経常利益	▲28,000



問題点と解決策

現状と問題点

- 経営は赤字続き。
- 医療法人は、不採算事業の切り離しを検討している。
- 現院長と医療法人本部との関係性も良くない。
- 建物は老朽化しており、承継者は建替えが必要。

解決策

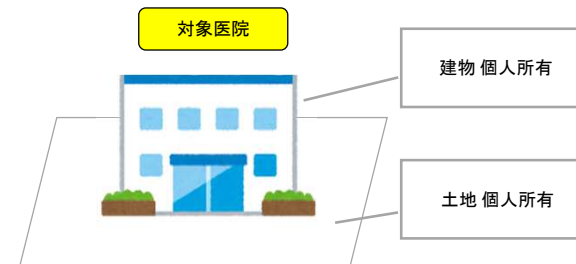
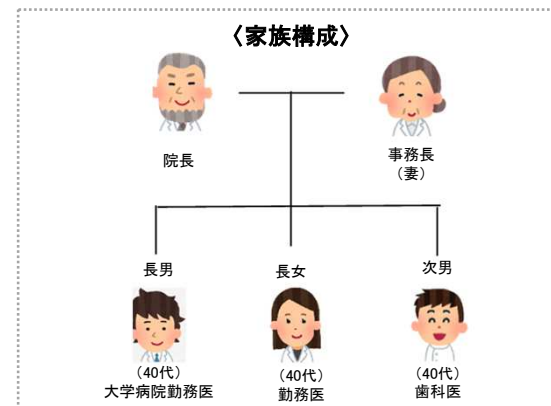
- 法人本体との切り離しのため「事業譲渡」の手続き
- 同一 二次医療圏の病院との統合
- 分院先として医療法人の傘下に入る

相談事例⑫

対象医院の概要

〈単位:千円〉

有床・無床	有床診療所
法人・個人	法人
病床	19床
医業収入	48,000
経常利益	▲10,000



問題点と解決策

現状と問題点

- 院長は健康面、体力面において診療を続けることは難しくなってきた。
- 病床は稼働していない。
- 後継者不在。ご子息、ご息女は医者だが継ぐ気はない。
- 建物は老朽化しており、承継者は建替えが必要。

解決策

- 病床付き出資持分譲渡
- 同一 二次医療圏の病院との統合
- 介護系事業者への二次利用の打診
- 開業候補医への打診